

7. 確定拠出年金と前払い退職金の選択結果

適格年金分は2002年9月に分配
引当金は4年に分割して分配

2003年10月に分配

① 今後発生する退職金の内
年間21万円部分

② 過去勤務分退職金
(適格年金分+引当金分)

③ 厚生年金基金の分配金
(プラスα部分)

確定拠出年金として運用
(毎月17,500円)

確定拠出年金として運用

確定拠出年金として運用

84%

人数64%
金額75%

40.2%

前払い退職金制度を選択
(年度末に21万円)

前払い退職金制度として
受け取り

一時金として受け取り

16%

人数36%
金額25%

42.7%

連合会から
年金として受け取り

17.1%

8. 運用商品

元本確保型商品

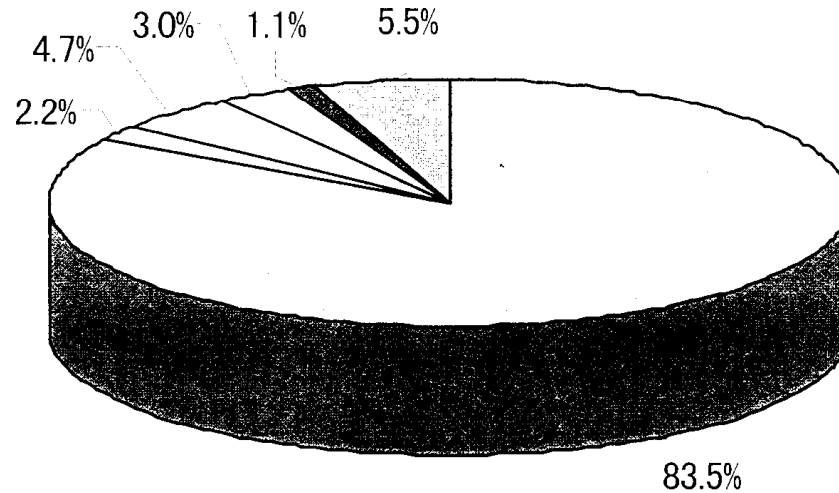
1	定期預金	みずほ銀行	1年
2		みずほ銀行	3年
3		UFJ銀行	1年
4		UFJ銀行	3年
5		三井住友銀行	5年
6	GIC	日本生命	5年
25		三井住友海上火災	5年

元本確保型以外の商品

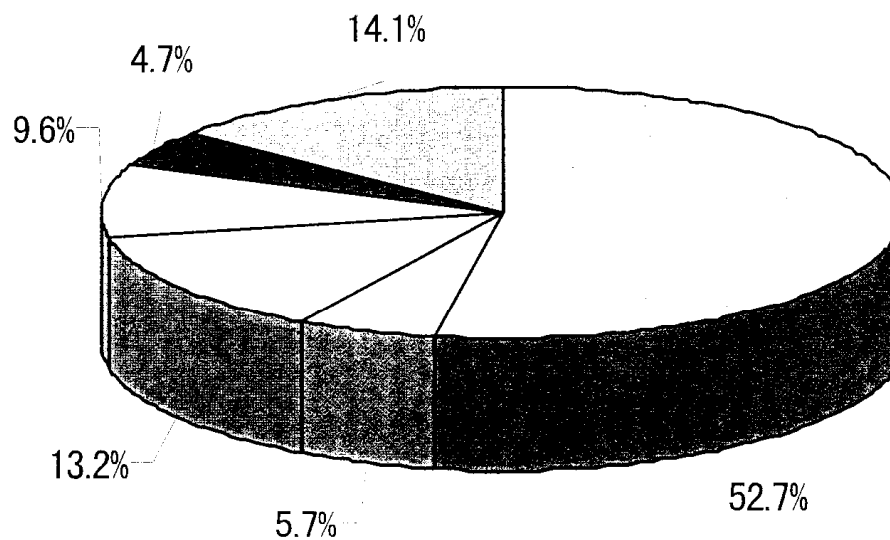
7	投資信託	国内債券	アクティブ	DIAM
8			パッシブ	日興アセットマネジメント
9		国内株式	アクティブ グロース	フィデリティ投信
10			アクティブ バリュー	大和証券投信
11			パッシブ TOPIX連動	日興アセットマネジメント
12			パッシブ 日経225連動	第一勧業アセットマネジメント
13		海外債券	アクティブ	クレディスイス
14			アクティブ 短期債券	DIAM
15			パッシブ	UFJパートナーズ投信
16		海外株式	アクティブ	フィデリティ投信
17			パッシブ	UFJパートナーズ投信
18		国内バランス	パッシブ	富士投信投資顧問
19~21		ライフサイクル	アクティブ	東京三菱投信投資顧問
22~24			パッシブ	DIAM

9. 制度導入当初(2002年9月)の資産配分・掛金配分状況

適格年金資産からの移換分の配分状況

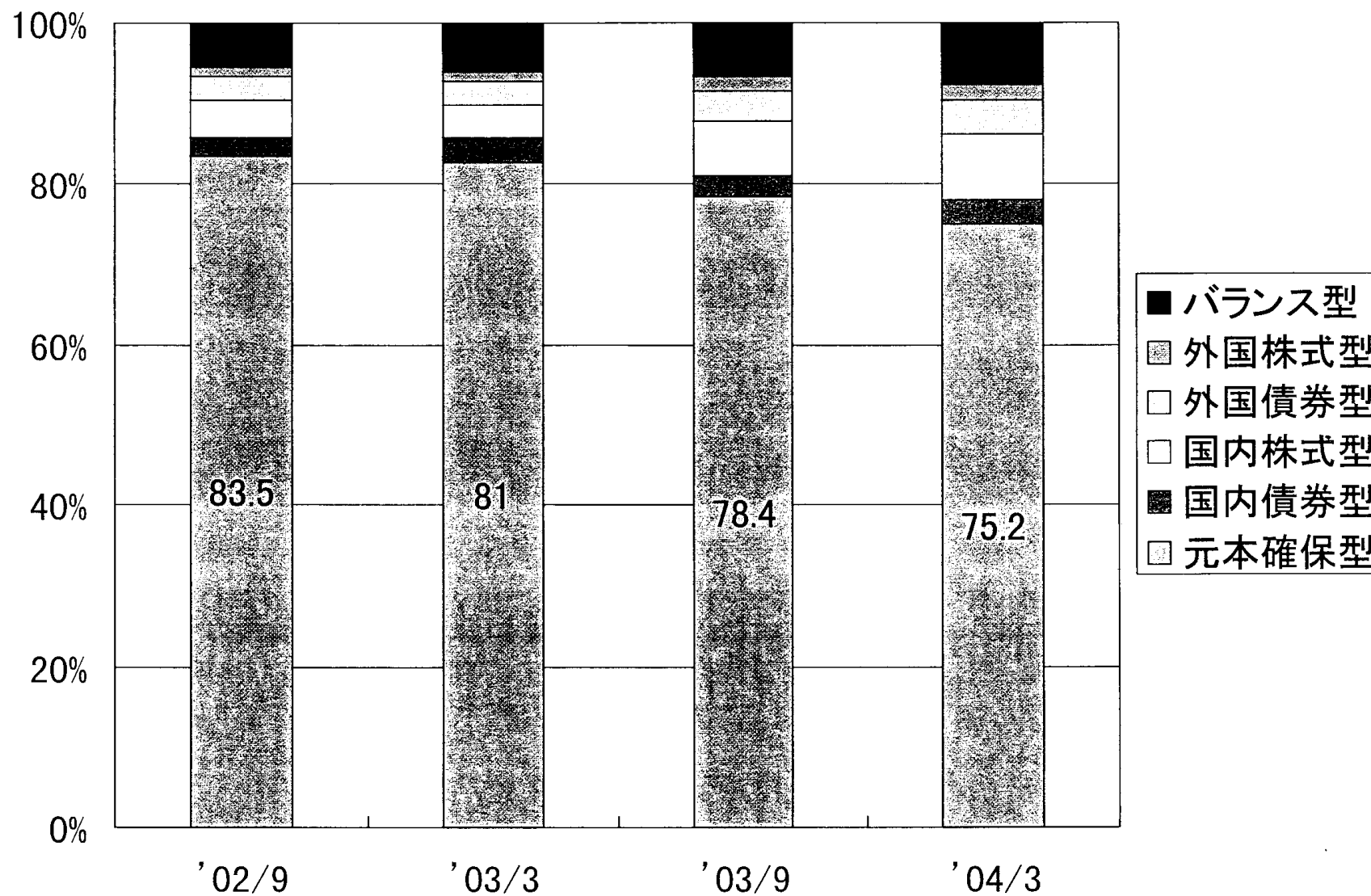


毎月の掛金の配分状況



- 元本確保型
- 国内債券型
- 国内株式型
- 外国債券型
- 外国株式型
- バランス(ライフサイクル)型

10. 資産配分の変化



11. 年代別・男女別の資産配分状況

	20代	30代	40代	50代	合計
定期預金	37.8%	38.9%	49.1%	79.5%	64.4%
生命保険	8.3%	12.3%	15.7%	8.5%	10.8%
元本確保	46.1%	51.2%	64.8%	88.0%	75.2%
国内債券	6.4%	5.4%	5.0%	1.2%	3.0%
国内株式	15.8%	13.9%	11.7%	4.6%	8.0%
外国債券	10.2%	9.5%	6.1%	1.5%	4.2%
外国株式	6.3%	5.1%	1.8%	1.0%	2.0%
バランス型	15.2%	15.0%	10.6%	3.7%	7.6%
元本確保以外	53.9%	48.9%	35.2%	12.0%	24.8%

	男性	女性
定期預金	62.9%	77.6%
生命保険	10.6%	12.6%
元本確保	73.5%	90.2%
国内債券	3.1%	1.6%
国内株式	8.7%	2.8%
外国債券	4.4%	1.7%
外国株式	2.2%	0.4%
バランス型	8.0%	3.3%
元本確保以外	26.4%	9.8%

12. 継続教育

1. 新入社員への教育

- ①4月・・・(社内講師)退職給付制度説明
(社外講師)ライフプラン、投資の基礎知識
- ②7月・・・投資の基礎知識(復習)
- ③入社後1年間は、全員前払い退職金制度。年度末に一時金を支給
- ④その後毎年4月に、確定拠出年金への変更を受け付け

2. 一般社員への教育

- ①個別相談(随時)・・・ヘルプデスク(人事・財務)あて社内メールにて実施
- ②ニュースレターの配布(半年に1回)
 - ・制度全体の資産配分状況の開示
 - ・運用商品別の運用実績の開示
 - ・コールセンター利用方法などの紹介
- ③前払い退職金から確定拠出年金への変更受付時の制度説明(社内通達)
- ④カフェテリアプランに通信教育メニュー

13. 今後の課題・要望事項

1. 今後の課題

- ①運用状況の報告書類やWeb画面の見方、操作方法
- ②公的年金などの社会保険や税に関する情報提供
- ③ライフプラン・キャリアデザイン支援
- ④受給方法・手続きの教育

2. 要望事項

- ①利回りがわかるようなレポートを
- ②途中払い出しを可能に
 - ・入社直後の新入社員が、60才まで払い出しが出来ない制度を選択できない
- ③特別法人税の取り扱いを明確に
 - ・凍結というのはあいまいであり、対策がとれない